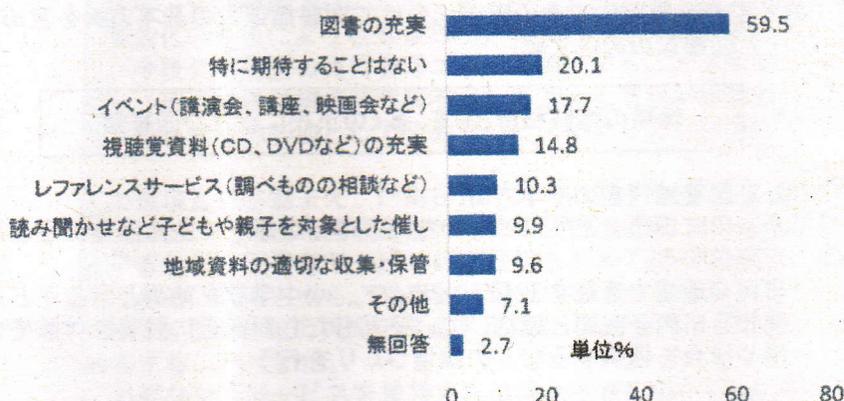


要版】

5 市民ニーズ

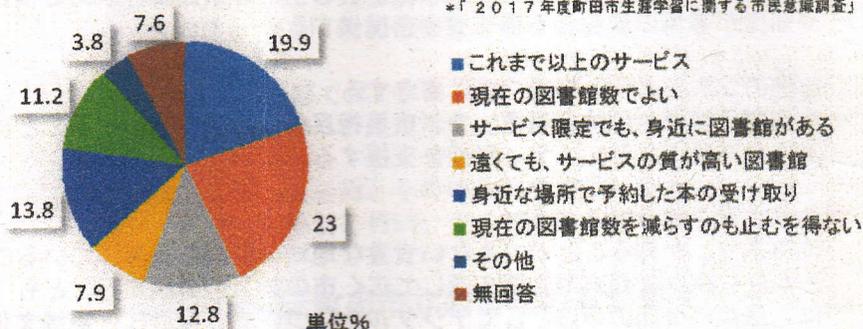
問16 図書館に期待すること

※「2017年度町田市生涯学習に関する市民意識調査」より



問17 図書館の見直しで最も重要と考えること

※「2017年度町田市生涯学習に関する市民意識調査」より



6 課題

(1) 図書館の適正配置の検討

- ◆利用圏域(半径1.5 km)の重複
 - 鶴川図書館・鶴川駅前図書館
 - 中央図書館・さるびあ図書館・金森図書館
 - 木曽山崎図書館・さるびあ図書館・忠生図書館

(2) 施設の老朽化等への対応

- ◆施設維持のための大規模修繕が必要
 - 築40年以上(3館) 30年以上(1館) 中央図書館(29年)
- ◆町田市所有以外の施設更新も視野に入れた検討が必要
 - 鶴川図書館(UR)・金森図書館(東京都)

(3) 貸出数減少への対応

- ◆図書館ごとの状況
 - 町田市立図書館全体の貸出数は減少傾向
 - 鶴川駅前・忠生・金森など新しく比較的規模の大きな図書館は大きな減少は見られない
 - 建築経過年数が長い小規模図書館の減少傾向が顕著
- ◆読書普及への取り組み
 - 子どもやその親を含めたこの世代への働きかけ
 - 高齢者へのサービスの充実

(4) 運営経費の適正化

- ◆町田市立図書館運営経費(2016年度課別行政評価シート)
 - 1,326,823千円
- ◆人口40万~50万人未満かつ自治体面積100km²下の9都市比較(再掲)
 - 職員数 経費等予算とも、町田市が最も多い